

# 2022 年度協定校シーズンプログラム（夏）

## 募集要項

※1月31日、グルノーブル工科大学、ベルリン工科大学、南洋理工大學、ハノーバー大学のコース詳細を追加しました。シンガポール工科大学を募集中止としました。

本学の協定校が募集するサマープログラムに参加する学生に対し、手続き支援及び単位付与による支援を行う。協定校によって時期や期間は異なるが、2022年5月～9月に2週間～12週間にわたり実施されるプログラムが対象となる。英語での授業履修や研究プロジェクトなどがある。

本学と派遣先大学の選考に合格した場合でも、新型コロナウイルスの感染拡大や新たな変異株の出現などにより、直前で海外渡航できなくなる場合がある。また、渡航後であっても、感染状況によっては本学の判断で途中帰国を指示することがある。いずれの場合も、航空券、宿舎、参加費などのキャンセル料については自己負担となる。

本プログラムは、従来、日本学生支援機構 (JASSO) 奨学金で参加学生を支援していたが、現在、JASSO 奨学金は9か月以上の留学のみ支給対象となっているため、本プログラムは奨学金対象とならない。(ただし、今後 JASSO の方針が変更された場合、奨学金が支給できる場合がある。)

以下の外務省ウェブサイトで渡航先の危険情報と、日本からの渡航者に対する各国・地域の入国制限措置及び入国・入域後の行動制限が記載されているので、必ず確認すること。現地到着後及び帰国後の隔離期間を考慮し、十分に余裕のあるスケジュールを組むこと。

<https://www.anzen.mofa.go.jp/>

[https://www.anzen.mofa.go.jp/covid19/pdfhistory\\_world.html](https://www.anzen.mofa.go.jp/covid19/pdfhistory_world.html)

本プログラム参加にあたっては、かならず家族・保証人及び指導教員に相談し、同意を得ること。

### 記

1. 概要 この募集は協定校が実施するサマープログラムに参加する者に対して、手続き支援及び単位付与を行うものである。なお、プログラムへの応募から航空券や宿舎の手配、渡航手続きまで、応募者（参加者）が責任を持って行う必要がある。

### 2. 支援内容

- 1) 手続き支援  
参加希望者が各大学のウェブサイトからプログラムに申し込む段階で、英語のウェブサイト利用に慣れない学生は留学情報館に申し出て、申請作業等の支援を受けることができる。
- 2) 単位付与  
「11.その他」の5)を参照

### 3. 対象時期

2022年5月～2022年9月

授業・試験期間に該当するものもあるため、参加の可否について所属学院等のカリキュ

ラムをよく確認し、留学しても支障ないことを確認すること。

4. 募集人数 各コースの募集人数は「別添 2022 協定校サマープログラムコース詳細」を参照すること。

5. 対象プログラム 詳細は「別添 2022 協定校サマープログラムコース詳細」を確認すること。また、新型コロナウイルスの感染拡大にともない開催中止、またはオンラインに移行する可能性があるため、各大学の HP で必ず最新の募集情報を確認すること。

- ① リンシェーピン大学（スウェーデン）Summer Academy
- ② デンマーク工科大学（デンマーク）DTU International Summer University
- ③ 南洋理工科大学（シンガポール）GEM Trailblazer Summer
- ④ ~~シンガポール工科大学（シンガポール）International Undergraduate Research Opportunities Programme ※~~ → **募集中止**
- ⑤ ハノーバー大学（ドイツ）Science & Engineering Research Projects
- ⑥ カリフォルニア大学バークレー校（米国）Summer Sessions
- ⑦ アーヘン工科大学（ドイツ）Summer Schools
- ⑧ ベルリン工科大学（ドイツ）Summer University
- ⑨ ブリティッシュ・コロンビア大学（カナダ）UBC Vancouver Summer Program
- ⑩ ポン・ゼ・ショセ（フランス）English Taught Exchange Programmes
- ⑪ オックスフォード大学（英国）Exeter College Summer Programme
- ⑫ アアルト大学（フィンランド）Summer School ※
- ⑬ グルノーブル工科大学（フランス）Grenoble international smart engineering summer school

①～③、⑩⑬のプログラムは、授業料免除で参加可能。（人数制限あり、要面接。「10. 学内選考」で内容を確認のこと）

※印のついたプログラムについては 2021 年 1 月 27 日時点でプログラム内容が確定していないため、確定次第コース詳細に追加する予定。

6. 応募資格

- 1) 応募、留学時点で、本学の正規課程に在籍する学士課程学生・修士課程学生 ※<sup>1</sup>
- 2) 留学期間終了後、本学に戻り学業を継続する者、または本学の学位を取得する者
- 3) 各プログラムの要求する学年・所属・専門分野等の条件をみたす者
- 4) 英語で授業を受講し現地で生活するため、一定の英語力（TOEIC550 点、TOEFL ITP490 点、TOEFL iBT57 点）を有すること。ただし、参加プログラムがそれ以上の語学要件を定めている場合はその基準を満たすこと。
- 5) 対象プログラムを修了後に、その成果について単位付与を受ける者※<sup>2</sup>。付与可能な単位については、「11. その他 の 5)」を参照すること。

※<sup>1</sup> プログラムによっては別途、学年制限がある。また、外国人留学生の出身国への留学は原則として認めない。

※<sup>2</sup> 2022 年 9 月に本学学士課程を卒業もしくは大学院課程を修了するものは、単位付与が間に合わないため、単位を受けることはできないが、手続き支援とオリエンテーションは受けることができる。

7. 提出書類

- 1) 申請書：様式は以下からダウンロード。  
<https://www.titech.ac.jp/students/abroad/file/03-program-summer-school-2022-shinseisyo--1.doc>
- 2) 語学試験の成績証明書の写し（TOEIC、TOEFL 等の英語能力証明書類）

語学試験の成績証明書がない場合は、「9.提出先及び問い合わせ先」に問い合わせること。

- 3) (本学の推薦が必要なプログラム以外は) 対象プログラムに応募済みであることがわかるメールや Acceptance Letter の写し

8.提出期限 留学情報館への応募締切は以下のとおり。

**2022年2月9日14時:**

デンマーク工科大学, ハノーバー大学, グルノーブル工科大学プログラムへの参加希望者

**2022年3月7日14時:**

リンシェーピン大学, 南洋理工大学, ポン・ゼ・ショセプログラムと上記以外の5月開始プログラムへの参加希望者

**2022年4月11日14時**

上記以外の6月開始プログラムへの参加希望者

**2022年5月10日14時:**

アアルト大学プログラム参加希望者と上記以外の7月開始プログラムへの参加希望者

**2022年6月13日14時:**

上記以外の8月開始プログラムへの参加希望者

応募にあたっては、アカデミック・アドバイザー（学士課程1～3年）、指導教員（学士課程4年以上）による承認（申請書への署名・押印）が必要。余裕を持って準備すること。なお、上記の提出期限は本学への応募締切である。各協定校の応募締切・提出書類はホームページで確認すること。外国人留学生の場合は、渡航先のビザ取得期間、条件等を事前に確認すること。

上記提出期限において書類不備、もしくは応募締切を過ぎての応募は受理しない。

9.提出先及び問い合わせ先 留学情報館（Taki Plaza 地下1階、学内便 TP-004）  
メール：[ghrd.sien@jim.titech.ac.jp](mailto:ghrd.sien@jim.titech.ac.jp), 電話：03-5734-3433  
オフィスアワー：9：00～12：15, 13：15～17：00

※提出方法は、直接持参、または以下のリンクから申請書をアップロードすること。

<https://tokyotech.app.box.com/f/30acfb359045461787f7ed049d8491a1>

10.学内選考 書類選考

ただし「5.対象プログラム」のうち、デンマーク工科大学、グルノーブル工科大学プログラムへの参加希望者については2月18日13:00～15:00、リンシェーピン大学、南洋理工大学、ポン・ゼ・ショセプログラムへの参加希望者については3月17日10:00～12:00にzoomにて面接を行う。面接時間とzoom情報については個別に連絡する。

11.その他

- 1) 参加決定後、提出書類と手続きについて説明するオリエンテーションを開催するので参加すること。
- 2) 大学の指定する海外旅行保険（危機管理サービス込）に必ず加入すること。
- 3) 参加後、留学情報館から依頼があれば、留学イベントでの発表や留学広報、留学の

成果に関する各種アンケートや調査に極力協力すること。

- 4) 帰国後、報告書（学士課程学生は日本語，修士課程学生は英語にて作成）等の必要書類を留学情報館に提出，修士課程学生は報告会（英語）に参加し，単位付与の手続きを行うこと。

- 5) 以下の単位を修得することが可能。詳細はシラバスを確認すること。

学士課程学生

- ・ 1年生および2年生の参加については、「グローバル理工人海外研修ベーシック」等の単位
- ・ 3年生および4年生の参加については、「グローバル理工人海外研修」等の単位
- ・ 上記にかかわらず、「グローバル理工人研修」等の科目ではなく，所属系の科目による単位となる場合がある。

修士課程学生

- ・ 修士課程学生の参加については，原則「グローバル理工人海外研修アドバンスト」等の単位
- ・ 上記にかかわらず，所属学院・コースの科目による単位付与・認定が行われる場合がある。

所属学院・コースの海外派遣研修に関連した科目付与・認定を希望する場合は，科目担当教員に直接問い合わせること。

単位数は原則以下のとおり。

- ・ 実働 10 日以上 20 日未満の留学：1 単位
- ・ 実働 20 日以上 30 日未満の留学：2 単位
- ・ 実働 30 日以上 40 日未満の留学：3 単位
- ・ 実働 40 日以上の留学：4 単位

- 6) 過去の参加者の体験談を[東工大 HP](#)で公開しているので，応募の参考とすること。「プログラム群」で「協定校サマー・ウィンタープログラム」を選ぶと本プログラム参加者の体験談を読むことができる。